

大和市学校教育基本計画
～実施計画編（2019～2020年度）～

基本目標1 子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます

施策の方向1—1 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	寺子屋事業の推進		
内容	児童生徒への放課後学習支援を行い、基礎学力・学習習慣の定着を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	放課後寺子屋やまとの参加児童数 2,200人/週	同左	
事務事業名	学力向上対策推進事業	担当課	指導室

項目	寺子屋コーディネーターによる教員への授業力向上支援及び生徒への学習支援		
内容	小学校では、教員への授業力向上支援を行い、中学校では、午後の授業で生徒への学習支援を行います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	授業力向上支援件数 4,800回/年	同左	
事務事業名	学力向上対策推進事業	担当課	指導室

項目	数学・英語TT（中学校）・少人数指導		
内容	生徒一人ひとりによりきめ細かい指導を実施するため、1年生の英語・数学の授業に少人数指導やチーム・ティーチングを行います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	中学校少人数指導非常勤講師（数学）9人 （英語）9人	同左	
事務事業名	学力向上対策推進事業	担当課	指導室

項目	教職員の指導力向上の推進		
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、各種の教育課題に関し必要な専門知識や技能の習得を促進します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	訪問研修の実施 56回	同左	
事務事業名	教職員研修実施事業	担当課	指導室

項目	教育の情報化の推進		
内容	I C T機器を活用した様々な授業実践に関する研修講座の開催や調査研究を行います。		
年次計画	2019年度		2020年度
	教育の情報化に関する調査研究 調査研究部会の開催	12回	同左
	教育の情報化に関する 研修講座	7回	同左
事務事業名	情報教育推進事業	担当課	教育研究所

項目	少人数指導等の非常勤講師の配置		
内容	小学校では第3学年時の、中学校では第1学年時の児童数・生徒数が1学級当たり35人以上の学校に非常勤講師を配置します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	講師配置校数 小・中学校合わせて8校		同左
事務事業名	小・中学校少人数指導等非常勤講師配置事業	担当課	学校教育課

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・児童が下水道の重要性についての認識を深めることができるよう、職員が学校へ出向き、講義を行います。（都市施設総務課／下水道出前授業）
- ・消費生活相談員が学校に出向き、悪質商法や最近の相談事例などについて説明します。ロールプレイ方式で「携帯・迷惑メール」などの場面を生徒が演じ、楽しみながら模擬体験し、トラブル対処法を身に付けることができるような講義をします。（市民相談課／消費生活出前講座）

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・少人数学級や少人数指導、ティーム・ティーチングによる指導、スクールアシスタントによる個別支援、学習支援ボランティアの活用など多様な指導形態により、個に応じたきめ細かな指導を進めています。
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校目標で目指す児童生徒像に向け、全校で主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいます。
- ・授業等でのサポートとして、学校支援ボランティアや学生ボランティアを募っています。

施策の方向1-2 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取組みを推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	調べる学習コンクールの推進		
内容	児童生徒が主体的・対話的で深い学びを体感、実感し、豊かな人生を創造できる資質・能力を養うため、図書館を使った調べる学習を推進します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	調べる学習コンクール小中学校応募数 7,000点	同左	
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業	担当課	指導室

項目	新聞を活用した学習の推進		
内容	社会の様々な課題を多角的に考察し、公正に判断するための能力等を高めるため、図書館や小学校5・6年、中学校全学年の通常学級及び特別支援学級の教室に、新聞を配架します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	図書館や小学校5・6年、中学校全学年の教室に、新聞を配架	同左	
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業	担当課	指導室

項目	学力向上対策の推進		
内容	児童生徒への学習支援を行うとともに、小学校では教員の指導力を養うことで、中学校では授業においてティーム・ティーチングなど、きめ細かい指導を行うことで、総体的に学力の向上を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	放課後寺子屋やまとの参加児童数 2,200人/週	同左	
事務事業名	学力向上対策推進事業	担当課	指導室

項目	学校訪問による指導力向上の推進		
内容	指導主事の学校訪問により、教育全般にわたる教職員の指導力向上を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	要請訪問の実施 28回 計画訪問の実施 28回	同左	
事務事業名	教職員研修実施事業	担当課	指導室

項目	教職員の専門性の向上対策の支援		
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、各種の教育課題に関し必要な専門知識や技能の習得を促進します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	訪問研修の実施 56回	同左	
事務事業名	教職員研修実施事業	担当課	指導室

項目	理科教育・環境教育の推進		
内容	理科教育・環境教育に関する教職員の指導力向上を図るため研修講座を開催します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	訪問研修及び理科教育に関する相談・支援の件数 40件 理科教育機器貸出し 15種類	同左	
事務事業名	理科・環境教育に関する調査研究・研修事業	担当課	教育研究所

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・調べる学習の成果を発表する場として、コンクールを実施し、部門ごとに審査、表彰します。(図書・学び交流課/図書館)
- ・環境に対する小・中学生の理解を深めるとともに、自発的な学習態度を形成するため、「かんきょうノート」の配布や、「やまと みどりの学校プログラム」を推進します。(環境総務課/環境意識啓発事業)
- ・自然環境の大切さを学ぶことを目的に自然に関する学習及び川での水生生物調査を実施します。(生活環境保全課/夏休み親子環境教室)
- ・ごみ処理についての理解を深め、減量化、資源化意識の啓発を図るため、ごみ処理施設の見学を実施します。(環境農政課)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・子どもたち同士の学び合いや多様な体験を通じた課題探究型の授業や、指導と評価が一体となった授業を目指しています。
- ・校内研究を中心に、児童の関わり合いを大切にした授業を実践するとともに、ICT機器の積極的活用に努めています。

施策の方向1-3 学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	特別支援教育の推進		
内容	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細かい支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	特別支援学級担任教諭、通常学級担任教諭等 対象研修会の開催 3回	同左	
事務事業名	特別支援教育推進事業	担当課	指導室
内容	特別支援学級への就学や「ことばの教室」、「特別支援教育センター」へ通級する家庭に援助を行うとともに、特別支援教育奨励費の普及を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	奨励費受給者数 小学校 194人 中学校 73人	同左	
事務事業名	小・中学校特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課

項目	日本語教育支援の推進		
内容	転・編入してきた日本語での授業に支障がある外国人につながるの児童生徒にプレクラスを実施するなど、日本語で教育内容を理解できるように支援します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	日本語指導員派遣回数 440回 外国人児童生徒教育相談員派遣回数 450回	同左	
事務事業名	外国人児童生徒教育推進事業	担当課	指導室

項目	大和市特別支援教育センター相談業務の充実		
内容	教育上配慮を要する児童生徒が、適切な就学ができるようにします。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	就学相談実施 200回	同左	
事務事業名	就学相談事業	担当課	指導室

項目	大和市特別支援教育センター通級指導教室・ことばの教室運営		
内容	大和市特別支援教育センター通級指導教室において、課題が見られる児童生徒に、より豊かな人間関係を築いたり、安心して生活が送れたりできるよう、指導・支援を行います。ことばの教室において、一人ひとりの状態に応じて発音の学習、ことばの発達促進の学習、聴覚学習を行い、会話などを通じたコミュニケーション能力の向上を図ります。		
	年次計画	2019年度 大和市特別支援教育センター通級指導教室備品の充実 ことばの教室用教材備品の充実	2020年度 同左
事務事業名	ことばの教室運営事業	担当課	指導室

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・外国につながるのある児童生徒と保護者への学習支援を行います。(渋谷学習センター／親子の日本語教室)
- ・主に障がいのある児童の就学にあたり、保護者が適切な進路を選択できるよう、医師や特別支援学校の教員、福祉関係者などにより検討し、その審議結果を保護者に助言します。(障がい福祉課／心身障害児者処遇委員会)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・国際教室担当教諭を中心に、大和市国際化協会のボランティアや日本語指導員の支援をいただきながら、個別対応の時間確保に努め、きめ細かく学習指導や生活指導を行っています。
- ・国際教室未設置校では、日本語指導巡回教員を活用し、外国につながるのある児童生徒への支援体制を充実していきます。
- ・転・編入してきた外国につながるのある児童生徒について、学校生活に適応できるよう拠点方式による日本語指導を活用しています。

施策の方向1-4 今日の教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	外国語教育の推進		
内容	外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、外国の言語、文化について理解を深め、国際コミュニケーション能力の向上を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	ALT (アシスタントランゲージティーチャー) 派遣回数 1,430回 AET (アシスタントイングリッシュティーチャー) 派遣回数 620回	同左	
事務事業名	英語教育推進事業	担当課	指導室

項目	プログラミング教育の支援		
内容	新学習指導要領の実施に向け、小学校教員を対象とし、プログラミング教育についての支援を行います。 児童生徒を対象に、プログラミングへの興味関心を高め、動機づけや学習の深化を目的としたプログラミング教室を開催します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	授業づくり(プログラミング教育)の支援 放課後寺子屋プログラミング教室開催	放課後寺子屋プログラミング教室開催 チャレンジプログラミング教室開催	
事務事業名	教職員研修実施事業 プログラミング教育支援事業 教育用コンピュータ整備事業	担当課	指導室・教育研究所

項目	学校訪問による今日の課題への対応の支援		
内容	指導主事の学校訪問により、今日の教育課題に対する指導力向上を支援します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	要請訪問の実施 28回	同左	
事務事業名	学校訪問による学校別指導推進事業	担当課	指導室

項目	教職員の指導力向上の推進		
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、各種の教育課題に関し必要な専門知識や技能の習得を促進します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	訪問研修の実施 56回	同左	
事務事業名	教職員研修実施事業	担当課	指導室

項目	教育に関する調査研究・研修の推進		
内容	今日の教育課題の調査研究を行います。 様々な教育課題及び専門教科に関する研修講座を開催します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	人格的資質向上研修講座	2回	同左
課題解決力向上研修講座	4回		
授業力向上研修講座	5回		
事務事業名	教育に関する調査研究・研修事業 理科・環境教育に関する調査研究・研修事業	担当課	教育研究所

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・ 保育所や社会教育施設などを教職員の社会体験研修の場として、教職員の受入れに協力します。(ほいく課、保育所、文化振興課 他)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・ 校内研修、校内研究のほか、自主的に勉強会を開催し、教職員の資質向上に努めています。

施策の方向1-5 学びを支える教育環境整備を進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	就学援助制度		
内容	学校教育法の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な家庭の負担を軽減するため、給食費や学用品費等を援助します。 ※受給者数は、経済状況によって増減します。経済状況を注視し、効率的な援助に努めます。		
年次計画	2019年度		2020年度
	受給者数		同左
	小学校	2,649人	
	中学校	1,288人	
事務事業名	小・中学校学用品等就学援助事業	担当課	学校教育課

項目	就学援助制度（医療費・めがね購入）		
内容	就学援助の認定を受けた家庭の児童生徒で、学校長から治療を指示された場合は医療費を援助します。また、同様の認定を受けた準要保護世帯の児童生徒で、学校の検診において片側視力が0.6以下の場合めがね代等を援助します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	小学校	197人	同左
	中学校	169人	
事務事業名	小・中学校医療費等就学援助事業	担当課	保健給食課

項目	第3子以降の学校給食費の助成		
内容	保護者の経済的負担の軽減を図るため、第3子以降の児童生徒の学校給食費を助成します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	補助金交付人数		同左
	小学校	249人	
	中学校	2人	
事務事業名	学校給食費助成事業	担当課	保健給食課

項目	奨学金制度		
内容	高等学校等への就学希望があるにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難な家庭の負担を軽減し、生徒の高校進学を支援します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	受給者数		同左
	新規	50人	
	更新	100人	
事務事業名	奨学金給付事業	担当課	学校教育課

項目	学校評議員の委嘱		
内容	地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を進めることにより、学校教育の充実を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	学校評議員の委嘱人数 158人	同左	
事務事業名	小・中学校地域教育力活用推進事業	担当課	指導室

項目	教育ネットワークの運用管理		
内容	小・中学校等をインターネット網で結ぶ教育ネットワークシステムの保守管理を行います。 校務支援システム及び資産管理システムの運用管理を行います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	資産管理システムの適正な運用 セキュリティインシデント 0件	同左	
事務事業名	教育ネットワーク運用管理事業	担当課	教育研究所

項目	各学校への教育用コンピュータの整備		
内容	小・中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を行います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	小・中学校タブレット型コンピュータ更新 1,101台 ICT支援員の配置 各校 1日/週	校務用コンピュータ更新 511台 同左	
事務事業名	教育用コンピュータ整備事業	担当課	教育研究所

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・図書館所蔵資料（50冊以内、貸出期間1か月）を学校に貸し出すことで、学校図書館を支援します。（図書・学び交流課／図書館）
- ・病児保育の実施により保護者の就労等を支援し、児童の保育を行います。（ほいく課）
- ・放課後に児童を預かることで、子どもが安心して生活できる生活の場を提供します。（こども・青少年課／放課後児童クラブ）

《本施策に関わる学校の取り組み事例》

- ・電子黒板等のICT機器などを活用し、授業改善に努めています。
- ・文書作成や成績処理において、校務の情報化を図っています。

基本目標2 様々な体験を通し、豊かな感性を育みます

施策の方向2-1 想像力を豊かにする読書活動を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	学校図書館教育の推進		
内容	学校図書館の運営や活用の支援を行い、図書館教育の推進を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	学校図書館スーパーバイザー（SLS）による学校訪問 150回	同左	
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業	担当課	指導室
内容	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	担当教諭・学校司書対象研修会の開催 2回 学校司書連絡会の開催 3回 学校図書館システムによるデータ活用の推進	同左	
事務事業名	小・中学校図書館教育推進事業	担当課	指導室

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・小学生を対象とした読書活動に関する各種講座を実施することで、本に親しむ機会を提供します。(図書・学び交流課/図書館)
- ・中高生を対象にした、各種講座を実施することで、読書への関心を高めます。(図書・学び交流課/図書館)
- ・読書活動推進のために本を学年別に分けて袋に入れたまま貸し出します。(図書・学び交流課/生涯学習センター)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・図書委員会の活動の一つとして、お薦め本の紹介や読書冊数の多い児童生徒の表彰をしています。
- ・教育活動における読書活動の充実や、朝読書の推進及び保護者による読み聞かせ等、本に親しむ時間を積極的に設けています。
- ・図書館司書を中心に、季節本のコーナーを設けるなど、親しみやすい学校図書館の環境づくりに努めています。
- ・学校図書館の運営や活用について、学校図書館スーパーバイザーと連携しながら、図書館教育の推進を図っています。

施策の方向2-2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	芸術鑑賞等学校行事支援		
内容	児童生徒が心豊かな人間性を育めるよう、優れた芸術に接する機会を提供します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	文化的行事への助成校数	28校	同左
事務事業名	小・中学校行事等支援事業	担当課	指導室

項目	学校生活を豊かにする学校給食の推進		
内容	食を通して学校生活を豊かにするため、学校給食における食育を推進します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	学校給食展の実施	1回	同左
親子料理教室の開催	2回		
食育に関する研究の実施			
栄養士による学校訪問	200回		
食に関する指導(教科、総合)	35回		
事務事業名	学校教育食育推進事業	担当課	保健給食課

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・子どもたちの豊かな心や思考力、想像力、コミュニケーション力を育てるため、市立小学校全19校で「対話による美術鑑賞」(グループで美術作品をみて、対話しながら作品の見方を深めていく鑑賞方法)を行います。(文化振興課)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・総合的な学習の時間に、福祉の視点から、施設訪問、車いす・点字・盲導犬体験など体験的な学習を取り入れた授業を進めています。
- ・生活科や社会科、音楽科などの授業において、こまやお手玉、水墨画、和太鼓など日本の伝統文化に触れる機会を設けています。
- ・伝統的な行事や学校行事と連携させた行事食を学校給食で提供することで、食育を推進します。

施策の方向2-3 様々な体験学習の機会を提供します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	芸術鑑賞、体験学習支援		
内容	児童生徒が心豊かな人間性を育めるよう、自然に触れたり、優れた芸術に接したりする機会を提供します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	文化的行事への助成校数 28校	同左	
事務事業名	小・中学校行事等支援事業	担当課	指導室

項目	理科教育・環境教育の推進		
内容	児童生徒を対象に、身近な物を使った科学教室やおもしろ科学館を開催します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	子ども科学教室6回 参加人数 148人 おもしろ科学館2回 参加人数 1,200人 (600人×2回)	子ども科学教室4回 参加人数 112人 おもしろ科学館2回 参加人数 1,200人 (600人×2回)	
事務事業名	理科・環境教育に関する調査研究・研修事業	担当課	教育研究所

項目	運動、文化活動の場の提供		
内容	中学校の部活動（運動、文化活動）の振興を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	地域指導者の派遣人数 30人	同左	
事務事業名	中学校部活動等支援事業	担当課	指導室

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・図書館で働くことを体験することで、中学生が自己の進路について考えるきっかけをつくります。(図書・学び交流課/図書館)
- ・図書館のバックヤード(閉架書庫や作業室)も含めた館内見学等を実施することで、読書に対する興味を高めます。(図書・学び交流課/図書館)
- ・各学習センターでは、もの作り教室など参加・体験型の講座等を企画・開催し、親子や異学年との交流など様々な体験の機会を提供します。(図書・学び交流課/生涯学習センター)
- ・創作する喜びを体得し、科学・技術に関する知識・興味の向上を図るため、作品を募集し、優秀作品を表彰します。また、「もの作り」に関する講演を実施します。(産業活性課/青少年創意くふう展)
- ・平和記念式典への参列、平和記念資料館の見学、被爆体験者の講話や平和施設の見学などの平和学習を行います。(国際・男女共同参画課)
- ・海外友好都市である大韓民国・光明(くあんみょん)市に隔年で青少年を派遣します。(国際・男女共同参画課)
- ・大和市民まつりや青少年センターまつりにおいて、中高生ボランティアがゲーム等の企画・運営を行うことで子どもが主体的な活動を行える場を創出します。(こども・青少年課)

- ・東日本大震災の被災地において、被災の現状を体感するための活動や地域の人たちとの交流などを行う2泊3日の宿泊研修と、事前・事後研修を実施します。(こども・青少年課／こども体験)
- ・市制60周年記念事業の一環として、大和市議会の議場で、市内小中学校の子どもたちが自ら議会を開き、市議会の仕組みについて理解を深めるため「子ども議会」を開催します。(議会事務局)
- ・小学5・6年生を対象に、図書館員として返却本の整理、書架配架作業、ビブリオバトル等の読書活動推進に関する体験を行います。(図書・学び交流課／図書館)
- ・親子のふれあいや郷土愛を深め、青少年の健全育成を図るため、親子で大和の史跡・名所をウォークラリーとしてまわります。(こども・青少年課／親子ナイトウォークラリー)
- ・親子のふれあいや子どもと地域住民との交流を深めるため、市内15箇所でふれあい広場を実施します。(こども・青少年課／ふれあい広場)
- ・社会体験や自然体験を通して、参加者自らが活動内容を企画・立案することで、自主的・主体的に活動できる子どもの育成を図ります。(こども・青少年課／大和ユースクラブ)
- ・小学校の校庭や体育館、余裕教室等を活用して、放課後に児童の安全・安心な居場所を設け、異学年や地域の方々との交流を通して、児童の協調性や社会性を養います。(こども・青少年課／放課後子ども教室)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・1年生の職業講話、2年生の職場体験学習、3年生の進路学習を積極的、計画的に取り入れ、キャリア教育を推進しています。
- ・地域の「泉の森」を核に、生活科や理科や総合的な学習の時間の年間計画を作成し、自然体験学習などを進めています。

基本目標3 安全安心な環境を整え、健康な心身を育てます

施策の方向3-1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	児童生徒の健康管理の取組みの推進		
内容	疾病の早期発見と予防、健康の保持増進を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	児童生徒健康診断の実施 各学校年1回	同左	
事務事業名	児童・生徒健康管理事業	担当課	保健給食課
項目	新入学児童の健康状態を把握し、健康面などで配慮の必要な児童の適切な就学を図ります。		
内容	新入学児童の健康状態を把握し、健康面などで配慮の必要な児童の適切な就学を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	就学時健康診断の実施 1回	同左	
事務事業名	就学時健康診断事業	担当課	保健給食課

項目	中学校部活動振興の支援		
内容	中学校の部活動の振興を図るとともに、生徒の実技を指導し、体力向上や社会性などを養います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	地域指導者の派遣人数 30人	同左	
事務事業名	中学校部活動等支援事業	担当課	指導室

項目	青少年相談の充実		
内容	児童生徒がより安心して相談できる体制を充実させるため、教職員向けの研修等を実施し、相談のスキル向上を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	教育相談担当者研修会 児童生徒支援研修会 7回	同左	
事務事業名	青少年相談・街頭補導事業	担当課	青少年相談室

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・子どもが自他共に命を大切に思う気持ちを養うことができるよう、講師及びスタッフを派遣して「やまといのちの教室」の授業を行います。(市立病院・すくすく子育て課・指導室)
- ・体力向上と健康増進を図るため、夏季休業期間中に小学校のプールを開放します。(スポーツ課)
- ・健康維持増進と陸上競技力の向上を図るため「大和市駅伝競走大会」を実施します。(スポーツ課)
- ・スポーツ活動の普及と啓発を図るとともに仲間やグループづくりなどスポーツを通じた親睦を深めるために「スポーツ教室」を実施します。(スポーツ課)

《本施策に関わる学校の実践事例》

- ・日常における教育相談活動のほか、年間2～3回の教育相談期間を設定し、生徒全員ときめ細かい相談活動を行っています。

項目	安全安心な学校給食提供のための施設等の維持・管理		
内容	安全安心で、良質な学校給食を提供するために、施設を適切に管理し、計画的な改修を実施するとともに、調理機器等を整備し、更新します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	調理場施設、設備の計画的な改修 調理機器総合点検 1回	同左	
事務事業名	給食共同調理場施設維持管理事務 単独調理校施設維持管理事務 受入校施設維持管理事務 学校給食施設大規模改修事業 学校給食設備整備事業	担当課	保健給食課

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・地元で作られた米や野菜に、より愛着を持ってもらうため、「米」と「大和で採れた野菜」をテーマとする作文を募集し、表彰します。(農政課/米作文・大和で採れた野菜作文コンクール)
- ・子ども及び当該子どもを同伴する保護者等に対して食事の提供等を行う「こども食堂」を運営する団体に対し、初期経費及び運営経費の一部を補助します。(こども・青少年課)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・食育指導年間計画を作成し、家庭科や社会科、総合的な学習の時間等に食育の視点の授業を行っています。

施策の方向3-3 命を守る、安全教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	防犯対策の強化		
内容	大和市立小学校に在籍する児童に防犯ブザーを配布します。 犯罪、不審者等の情報や、行政情報等を迅速に保護者へ通知します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	小学1年生から4年生に配布 学校PSメールの加入促進		1年生に配布 同左
事務事業名	児童生徒安全対策事業	担当課	指導室

項目	情報モラル教育の推進		
内容	情報社会で安全に生活するための知識・技能、健康への意識を育成する研修会を児童生徒、教職員、保護者に向けて実施します。		
年次計画	2019年度		2020年度
	訪問研修の実施 56回		同左
事務事業名	情報教育推進事業	担当課	教育研究所

項目	安全のための見回り・声掛け		
内容	青少年の非行防止と犯罪被害の未然防止のために、青少年相談員と専門街頭指導員がゲームセンターや公園など地域を巡回し安全の向上に努めます。		
年次計画	2019年度		2020年度
	街頭補導の実施 300回		同左
事務事業名	青少年相談・街頭補導事業	担当課	青少年相談室
内容	登下校中などの児童生徒の安全を向上させるため、青少年相談員と専門街頭指導員が学校を訪問し情報交換会等を行い、学校との連携を図ります。		
年次計画	2019年度		2020年度
	中学校との情報交換会 18回		同左
事務事業名	青少年相談員連絡協議会支援事業	担当課	青少年相談室

項目	防災マニュアルの策定・推進		
内容	大和市教育局防災マニュアルの策定、推進をします。 学校防災計画作成の支援をします。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	大和市教育局防災マニュアル、学校 防災計画の策定	同左	
事務事業名	児童生徒安全対策事業	担当課	指導室

項目	交通安全教育の推進		
内容	地域、関係機関における交通安全に関する専門的な知識等を生かした教育に取り組み ます。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	小学校交通安全教室の実施	同左	
事務事業名	小学校地域教育力活用推進事業	担当課	指導室

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・自主防犯意識を高めるため、誘拐防止等の防犯講話や地域安全マップづくりを行います。(生活あんしん課/防犯教室)
- ・小・中学生の交通安全意識を高め、交通事故軽減を図るため、歩き方教室(全ての小学校1年生を対象)や自転車乗り方教室などを実施します。(道路安全対策課/交通安全教室)
- ・防火・防災に関する知識と技術を身につけるとともに、命や暮らしを守ることの大切さを学び家庭や地域における防火・防災意識の啓発を図るため、消防・救助訓練、救命講習のほか宿泊研修や視察研修なども実施しています。(予防課/大和市少年消防団支援事業)
- ・火災予防に対する関心を深め、各家庭や学校など地域一体となった火災予防の意識を高めるため、防火ポスターの募集を行います。(予防課/防火ポスター審査会)
- ・小・中学生を対象に、救急救命課職員と応急手当普及員の資格を持つ教員等が協力して、授業の中で小学生には「命の授業」を実施し、中学生に対しては普通救命講習会を実施します。(救急救命課)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・自らの判断で自分の身が守れるように、具体的な場面を想定した避難訓練を行っています。
- ・東日本大震災を受け、本市での基本方針(震度5弱以上の地震発生時には、児童生徒を安全に保護し保護者に引き渡す)のもと、防災体制の整備に取り組んでいます。その中で、保護者への引き渡し訓練を、小中学校が連携して実施しています。
- ・不審者情報を保護者に発信し、児童生徒を見守る目を増やして、児童生徒の安全を図っています。
- ・火災、地震などの緊急時における対応について、大和市の危機管理課職員による研修会を実施するなどして、見直しています。
- ・PTAや地域の協力のもと、登下校時等の安全パトロールを行っています。
- ・登下校時の安全パトロール「おかえりなさい運動」を実施しています。

施策の方向3-4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	安全安心な学校施設づくり		
内容	航空機による騒音に対する防音機能の低下及び施設の老朽化による諸問題を解決するために、計画的な大規模改修を実施します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	復旧防音大規模改修【工事(2/2)】 1校 復旧防音大規模改修【設計業務】 1校 復旧温度保持除湿【設計業務】 1校	復旧防音大規模改修【工事(1/2)】 1校 復旧温度保持除湿【工事(1/2)】 1校 復旧防音大規模改修【設計業務】 1校 復旧温度保持除湿【設計業務】 1校	
事務事業名	小・中学校大規模改修事業 小・中学校防音設備整備事業	担当課	教育総務課
内容	良好な学習環境を確保するため、学校施設を適切に維持管理します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	適切な保守及び遅滞ない修繕の実施 28校	同左	
事務事業名	小・中学校施設維持管理事業	担当課	教育総務課

項目	大和市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検の実施		
内容	小学校から提出された通学路合同点検依頼書の内容を精査し、推進会議による合同点検を実施します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	合同点検実施校 小学校 19校	同左	
事務事業名	通学路指定・補修要望事務	担当課	学校教育課

項目	学校の良好な環境衛生の維持		
内容	小・中学校における良好な環境衛生の維持を図るため、飲料水、プール水の水質検査及び教室の空気等の検査を定期的実施します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	室内環境検査 1回 飲料水水質検査 12回 プール水検査 1回	同左	
事務事業名	小・中学校環境検査事務 学校薬剤師検査室運営事業	担当課	保健給食課

項目	学校での児童生徒のケガ等に対する医療費等の給付		
内容	災害給付金の支給により、医療費の負担軽減等を図ります。		
年次計画	2019年度		2020年度
	災害給付件数	1,354 件	同左
事務事業名	学校災害補償事業	担当課	保健給食課

項目	教職員の心身の健康維持		
内容	教職員の疾病の早期発見と予防、健康の保持を図ります。		
年次計画	2019年度		2020年度
	教職員健康診断	1 回	同左
ストレスチェック	1 回		
事務事業名	教職員健康診断事務	担当課	保健給食課

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・校舎内外の点検を定期的実施し、安全で安心な学校施設であるよう維持管理に努めています。

基本目標4 多様性を尊重し、他者と共に生きる社会性を育てます

施策の方向4-1 いじめのない学校生活に向けた取組みを進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	いじめのない学校生活への支援		
内容	児童指導において、いじめ等の多様化する対応の充実を図るため、全小学校に児童支援中核教諭を配置し、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう取り組みます。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	学級集団アセスメントの実施校 28校 全小学校へ児童指導・支援の中心的役割を担う中核教諭を配置	同左	
事務事業名	いじめ等対策事業	担当課	指導室

項目	青少年等の相談と、教職員に向けた学校相談体制の支援		
内容	青少年（就学から30歳まで）やその保護者・教職員の相談を受け、いじめを含め学校生活全般について適切な支援を行います。電話・来室での相談や学校への相談員派遣により様々な相談に専門相談員（スクールソーシャルワーカー（SSW）・心理カウンセラー（CP））と学校相談員が対応します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	SSW・CPの対応件数 来室相談 1,100件 電話相談 600件 学校相談員による来室相談 1,990件	同左	
事務事業名	青少年相談・街頭補導事業	担当課	青少年相談室

内容	全中学校に、匿名でいじめについての相談・通報・報告ができるアプリ「STOPit（ストップイット）」を導入し、いじめの早期発見、解決に取り組みます。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	「STOPit（ストップイット）」導入校 9校	同左	
事務事業名	いじめ等対策事業	担当課	指導室

項目	ネットトラブルのサポート		
内容	児童生徒がネットいじめ等のトラブルに遭った際の相談、サポートを行います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	トラブル相談実施 トラブル対応 各中学校1回	同左	
事務事業名	情報教育推進事業	担当課	教育研究所

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・児童生徒へのいじめのアンケート実施や、いじめ相談・通報アプリの活用など、実態把握に努め、いじめの早期発見・解決に取り組んでいます。
- ・全学年で共通の題材を用いて、いろいろな人の立場に立ってその時の気持ちを考えるいじめ防止の授業を実施しています。

施策の方向4-2 不登校のない、誰もが通いたくなる学校づくりを進めます

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	不登校の未然防止対策		
内容	学級集団アセスメントテストを実施し、学級や個人の状態を客観的に把握し、よりよい集団作りや不登校・いじめの防止に役立てる学級集団作りに取り組みます。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	学級集団アセスメントの実施校 28校 全小学校へ児童指導・支援の中心的役割を担う中核教諭を配置	同左	
事務事業名	いじめ等対策事業	担当課	指導室

項目	不登校の児童生徒と保護者に向けての支援		
内容	学校復帰を一つの目的に教育支援教室（まほろば教室）を運営するとともに、各学校での不登校に対する取組みが活性化されるよう積極的な働きかけをします。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	まほろば教室通室人数 35人 (年度末登録者数)	同左	
事務事業名	不登校児童生徒援助事業	担当課	青少年相談室
内容	中学校には不登校生徒支援員を、小学校には不登校児童支援員を配置し、不登校や登校を渋りがちな児童生徒が、学校生活を安心して過ごせるように学習支援や教育相談・家庭訪問を行います。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	不登校生徒支援員数 9人 不登校児童支援員数 5人	同左	
事務事業名	不登校児童生徒援助事業	担当課	青少年相談室
内容	不登校や登校を渋りがちな児童生徒の保護者に向けて、その悩みを理解し支援するために特別相談員を交えた保護者会を開催します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	不登校を考える保護者会 4回	同左	
事務事業名	不登校児童生徒援助事業	担当課	青少年相談室

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・学級集団アセスメントの活用など、子どもにとって安心できる居場所となる学級・学校づくりを推進しています。
- ・一人ひとりを大切にするきめ細かな指導や日常の教育相談活動に努め、不登校の早期発見やいじめ問題の未然防止に向けて取り組んでいます。
- ・不登校やいじめ問題の解決にむけて、ケース会議等を開催し教職員間の情報共有を図り、組織的に対応しています。

施策の方向4-3 社会性を育む道德教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	社会性を育むための教職員の研修・研究		
内容	学校教育における人権・同和教育を推進し、教職員の人権意識を高めます。豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	各学校の人権教育における全体計画及び教育計画の指導助言 28校 人格的資質向上研修(人権) 1回	同左	
事務事業名	人権教育推進事業 教育に関する調査研究・研修事業	担当課	指導室・教育研究所
内容	教職員の指導力を高め、教育水準の向上を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	研究委託 ふれあい教育実践研究推進校 3校 小・中学校教育研究会等への助成	同左	
事務事業名	教育研究支援事業	担当課	指導室
内容	教職員を対象とする研修会を開催し、道德教育に関し、必要な専門知識や技能の習得を促進します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	道德をテーマにした 訪問研修の実施 28回	同左	
事務事業名	教職員研修実施事業	担当課	指導室

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・「福祉の日」の周知とともに福祉の心を育むことを目的として、福祉作文を募集します。(健康福祉総務課/福祉作文)
- ・中学生を対象に人権作文及び人権ポスターを募集し、表彰することで、中学生の人権意識高揚を図ります。(国際・男女共同参画課/人権作文コンテスト・人権ポスター募集)
- ・認知症サポーター養成講座により、認知症サポーターを養成し、併せて高齢者や福祉への理解を深めます。(高齢福祉課/認知症サポーター養成講座)
- ・すべての子どもが一人の人間として尊重され、その権利が保障される地域社会づくりを推進するため人権擁護委員が教材を用いて授業を行います。(国際・男女共同参画課)
- ・子どもたちに「平和」の尊さについて考えてもらうため、ヒロシマ平和学習派遣事業を行います。(国際・男女共同参画課)
- ・海外友好都市である大韓民国・光明(くあんみょん)市との相互交流を通じ、国際的な相互理解を深めるため隔年で青少年の派遣を行います。(国際・男女共同参画課)
- ・高齢者や妊婦、障がいのある方の疑似体験を通じて、いたわりや思いやりの心を育むため、福祉体験グッズ(高齢者疑似体験セット・妊婦疑似体験セット・視覚障がい疑似体験セット・車いす)を貸出します。(健康福祉総務課)

- ・福祉施設やボランティア団体と協力し、体験の場を提供することで、福祉についての学びを深めます。
(健康福祉総務課/夏休み福祉体験チャレンジ学習)
- ・保育園での実習を通して、乳幼児に関する知識や技能を習得する場とするとともに、ボランティア活動参加のきっかけをつくります。(健康福祉総務課/中高生保育入門講座)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・社会性の伸張を目指し、毎週月曜日、1～6年生で縦割りグループをつくり、異年齢での遊びなどの活動を行っています。
- ・地域の方から畑を借りて育てたサツマイモを地域の行事で販売し、その収益を学級文庫の購入に当てる取組みをしています。
- ・子ども祭りやなわとび大会など、年間を通して異年齢集団で活動する機会を設定し、社会性や思いやりの気持ちを育てています。
- ・子どもたちの心のゆさぶりを視点とし、週1回の道徳の授業の充実を図っています。
- ・受講した人権教育の研修内容を伝達し、学校全体で意識啓発を図ります。
- ・教職員の人権感覚を高めるため、研修会等に参加するとともに、校内でその成果の共有に努めています。

施策の方向4-4 社会に開かれた学校教育を推進します

(目標達成に向けた主な事務事業)

項目	学校評議員の委嘱		
内容	地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を進めることにより、学校教育の充実を図ります。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	学校評議員の委嘱人数 158人	同左	
事務事業名	小・中学校地域教育力活用推進事業	担当課	指導室

項目	地域と協働した学校教育の推進		
内容	地域の方々が持っている専門的な知識・技能及び経験を学校教育に取り入れることを推進します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	学校支援ボランティア人材バンク登録者数 64人	同左	
事務事業名	小・中学校地域教育力活用推進事業	担当課	指導室

項目	広報誌の発行		
内容	特色ある教育活動を広報誌等で市民に周知するとともに、地域と連携した学校教育推進に向けた学習会への参加や活動への協力を働きかけます。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	ビジュアル版大和の教育 こども版まなびやまと まなびやまと	同左	
事務事業名	教育に関する調査研究・研修事業	担当課	教育研究所

項目	大和市の教育に関する統計等の資料の発行		
内容	前年度の活動成果や指針を集約した統計及び研究検討の資料として、「大和の教育」を発行します。また、発行した内容については、ホームページへ掲載します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	大和の教育	同左	
事務事業名	大和の教育刊行事業	担当課	教育総務課

項目	教育功労者の表彰		
内容	学校教育や社会教育などの分野において、長年にわたり活動いただいた功労や、他の模範となった功績をたたえ、表彰します。		
年次計画	2019年度	2020年度	
	表彰式実施	同左	
事務事業名	教育委員会褒章事業	担当課	教育総務課

《施策を支える市長部局の事務事業等》

- ・学校・家庭・地域の連携促進のため、大和市PTA連絡協議会の活動を支援します。(図書・学び交流課)
- ・保育園、NPO法人、関係団体、行政など子育て支援に関わる各機関が情報を共有し、連携し施策を推進できるよう、ネットワーク会議を開催します。(こども総務課/子育て支援ネットワーク会議)
- ・アスリートや文化人が講師となり、夢について話し合い、夢を持つことや、夢に向かって努力することの大切さを伝えます。(スポーツ課/JFAこころのプロジェクト「夢の教室」)
- ・家庭、学校、地域社会が相互の連携し、市民総ぐるみで青少年の健全育成を図ります。また、活動を市民に啓発するため、青少年健全育成大会を開催します。(こども・青少年課/青少年健全育成都市宣言推進事業)

《本施策に関わる学校の取組み事例》

- ・地域にある老人福祉施設や保育園での交流やボランティア活動を通して、地域の一員としての社会性を培っています。
- ・児童生徒、保護者等関係者による学校評価を行い、その評価を次年度の計画に生かします。
- ・学校評議員会を通年的に開催し、評議員から学校経営に対する意見や考えをうかがい、教育活動に反映しています。
- ・PTA活動を中心に、読み聞かせボランティアや学校行事のアシスタントなど、保護者が教育活動に参加いただく場面を設けます。
- ・保護者との関係を密にし、信頼関係の構築に努めています。
- ・学校ホームページ、学校・学年・学級だより、給食だより等の媒体を活用し、学校内の情報をきめ細かく発信しています。
- ・地域の方や保護者ボランティアの方々を招き、ゲストティーチャーとして授業を行っていただいたり、地域学習を行ったりしています。
- ・地域の祭りに参加するなど、地域の方々と交流を図っています。
- ・地域、社会教育団体、PTAに呼びかけて「校庭側溝清掃」を共同で実施しています。
- ・家庭・地域教育活性化会議等、地域の組織と連携して環境美化活動を行っています。
- ・親父たちの会主催の、フェスタなどに取り組んでいます。